



炭鉱の文化に思いをさせて

7月8日、美術館で特別展「甦る炭鉱の記憶」がスタートしました。この特別展では、小樽市や夕張市教育委員会が収蔵する資料や美術作品などを通して、炭鉱に生きた人々の労働や生活文化を紹介しています。会場を訪れた皆さんは作品一つ一つに足を止め、鑑賞していました。特別展は9月17日(日)まで。



小樽の魅力を再発見

7月2日、小樽観光ガイドクラブによる「第10回小樽市民のための無料散策ツアー～公園通りを歩いて歴史を楽しもう！」が開催されました。当日は54人の参加者が総合体育館から堺町通りまでを散策。皆さんは普段気付かなかった場所を見ながら、熱心に説明に耳を傾けていました。

「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方はお申し出ください。



プロに学ぶ映像の基礎

6月24日と25日、「小樽ショートフィルムセッション・ワークショップ」を総合博物館本館で開催しました。これは、小樽を舞台とした映像コンテストの出品者に向けた講座で、28人が参加。映画監督の山口洋介氏の指導を受け、実際に作品を制作しながら完成までの流れや制作のコツを学びました。

子どもも大人も全力疾走

6月18日、「第29回おたる運河ロードレース大会」を開催しました。今年は、昨年を上回る3045人のランナーが参加し、小・中学生の参加者も昨年の119人から大きく伸びて273人となりました。ランナーの皆さんはそれぞれの目標に向かって、日差しが照りつけるコースを駆け抜けていきました。

